

平成 21 年 7 月 31 日

平成 21 年度化学系合同プロモーションについて

昨年に引き続き、北米、ヨーロッパとアジアにおいて海外の研究者向けの化学系ジャーナル合同プロモーションを下記の要領で行うとともに、平成 21 年度は、初めて国内の国際会議においてもプロモーションを行う。昨年同様に幹事学会は日本化学会、SPARC パートナー誌代表学会は化学工学会が勤める。

<プロモーションの目的>

- ・ 化学系ジャーナル 9 誌で、研究者への宣伝活動を合同で行う。
- ・ 研究者に対し参加ジャーナルの知名度をあげるために、参加者の多い国際会議でプロモーションを行う。
- ・ 3 年間培ってきたプロモーション活動のノウハウ伝授のため、国内で行われる国際会議に出展し、参加学会内の編集担当者を派遣する。海外での会議へ複数人の派遣は経費がかかるため、難しいためである。

<参加予定ジャーナル>

Bulletin of the Chemical Society of Japan (日本化学会)

Chemistry Letters (日本化学会)

Trends in Glycoscience and Glycotechnology (FCCA)

SPARC 選定誌

Journal of Chemical Engineering of Japan (化学工学会)

Analytical Sciences (日本分析化学会)

Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry (日本農芸化学会)

Journal of Bioscience and Bioengineering (日本生物工学会)

Polymer Journal (高分子学会)

Materials Transactions (日本金属学会)

<参加予定会議>

- ・ IUPAC 第 42 回 Congress (グラスゴー) 8 月 3 日-7 日
- ・ ACS 総会展示会 (ワシントン D.C.) 8 月 16 日-20 日
- ・ 第 13 回アジア化学会議(上海) 9 月 13-15 日
- ・ 第 9 回アジア太平洋生物化学工学会議 (神戸) 11 月 24-28 日

<プロモーションの内容>

- ◆ 3×3m もしくは 3×2m 程度の展示エリアを確保し各ジャーナルを PR
- ◆ 共同サインボード (バックボード) の作成
- ◆ 参加ジャーナルで共通カタログを作成し配布
- ◆ サンプルコピーの配布
- ◆ ノベルティの配布

※上記のうち SPARC Japan の支援範囲は以下のとおり

- 1) プロモーション用参加ジャーナル共通カタログ及びポスターの作成経費
- 2) 学会への出展経費
- 3) プロモーション人材育成のための実地派遣経費